

みもろつく鹿背山里山学校2018 閉校あいさつ

みもろつく鹿背山里山学校の閉校にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

昨年 春の開校以来、早いもので、もう閉校を迎えることになりました。

参加者の皆様には、全8回の開催ではありましたが、里山の活動にご参加いただき、大変お疲れさまでした。

活動を通して、収穫体験や自然観察、クラフトづくりなど、里山での活動の楽しさを体験していただけたかと思います。

また、里山を維持するためには、多大な労力や工夫が必要であるということも分かっていただけたかと思います。

鹿背山の里山は、かつては自然の営みに人の営みが加わり豊かな里山を形成していました。しかしながら、人口減少による地域の過疎化や高齢化が進み、また、耕作を止められたり、燃料として薪に利用すると言った里山としての営みが減少しています。

人の手が入らなくなった里山は荒廃していきます。

里山学校を通じて、その様な現状を目にされたと思いますが、一方で、それを食い止めるために、皆さんを指導して下さった活動団体の皆様が活躍されている状況もまた目にされ、何か感じるものがあったのではないのでしょうか。

里山学校の目的は、里地里山の魅力を発見し、里地里山再生・保全活動への参加のきっかけづくりにあります。今回、里山整備や収穫体験などをおして活動された感想はいかがだったのでしょうか。

里山は世代を超えて保全していかなければなりません。

今回、皆さんに活動いただいた場所は、広大な里山の一部です。

自然や環境への関心が高まっている今、このような間近に里山があります。この里山学校を通じて、今後の里山活動参加のきっかけとしてもらえれば、たいへんありがたく思います。

あとになりましたが、活動団体の皆様方の、日頃の活動に敬意を表するとともに、里山学校の受講生に愛情を持ってご指導を戴きましたことに、心より感謝を申し上げます。

ありがとうございました。

市としても、たゆまなく里山再生に取り組んで参りますので、引き続きご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

本日、修了証を手にとられた皆さんには、修了証にもあったように、これからも楽しく里山活動を続けて戴きまして、鹿背山の里山再生の担い手として活躍されますことを切にお願いいたしまして、閉校に際してのごあいさつといたします。

平成三一年三月一七日

木津川市長 河井 規子